

来る人もわたしたちも
みんなで一緒に楽しめるおまつりにしたい

——発表があった瞬間は？
本当にびっくりしました。まさか、自分が選ばれるなんて。今回、応募を勧めてくれたのは祖母とお母さん。当日、デンパークの会場にいて、発表の瞬間飛び上がって喜んでいました。ちょうどコンテストは母の日だったので、最高のプレゼントになりました。

——安城市や七夕のイメージは？
わたしの住んでいる西尾市と同じように、田園風景と近代的な都



市の街並みがうまく交わっていても好きです。七夕まつりは小さいころから家族と出かけていました。いろいろな人が一緒になって楽しむことができる素敵なおまつりですね。

——普段はどんなことをしていますか？
ピアノを弾いています。曲を作ることもあるんですよ。バラードっぽいのが多いんですけど。

あと、大学で英米の文化を学んでいるので、英会話



あや
鳥居 彩さん(西尾市・19歳・学生)

8月4日(金)から3日間開催される安城七夕まつりの、2006年ミス七夕クイーン。

筆者のつぶやき

現在、ミス七夕としての研修の真っ最中で、その合間を縫ってお話を伺いました。「勉強になります。立ち居振る舞いもですが、内面の大切さがわかりました」と彩さん。

でも、初対面であるわたしたちの質問にも、すばやく、丁寧に、そして魅力的な笑顔で答えられるその姿は、けっして研修で培われたものだけではないはずです。

来てください」と言うくらいの意気込みで、精一杯PRをしていきたいと思っています。

そして、訪れた人もわたしたちも一緒に楽しむ、そんなおまつりにしたいですね。



今年のミス七夕のメンバーは、背の高さが違うように、みんなそれぞれ個性があって楽しいです。みんなと一緒に「安城市民の皆さんは全員

も勉強しています。七夕まつりには海外からのお客様も来ていただけたと思うので、ぜひ、生かしていきたいです。

——それは、七夕まつりに向けての抱負を聞かせてください。